

主催：川崎市市民ミュージアム

鉄道操車場物語 —新鶴見から塩浜へ—

鉄道操車場物語

TRAIN YARD STORY

2022年2月3日(木)～2月16日(水)

会場 | ミューザ川崎シンフォニーホール 4階 企画展示室・研修室4

開場時間：9:30～17:00(最終入場16:30) 会期中無休 観覧無料 主催：川崎市市民ミュージアム

問い合わせ先：川崎市市民ミュージアム TEL 044-754-4500 FAX 044-754-4533



—新鶴見から塩浜へ—



展示会の詳細はこちら ▶ <https://www.kawasaki-museum.jp/exhibition/24594/>

会期 2022年2月3日(木)～2月16日(水)

会場 ミューザ川崎シンフォニーホール 4階 企画展示室・研修室4

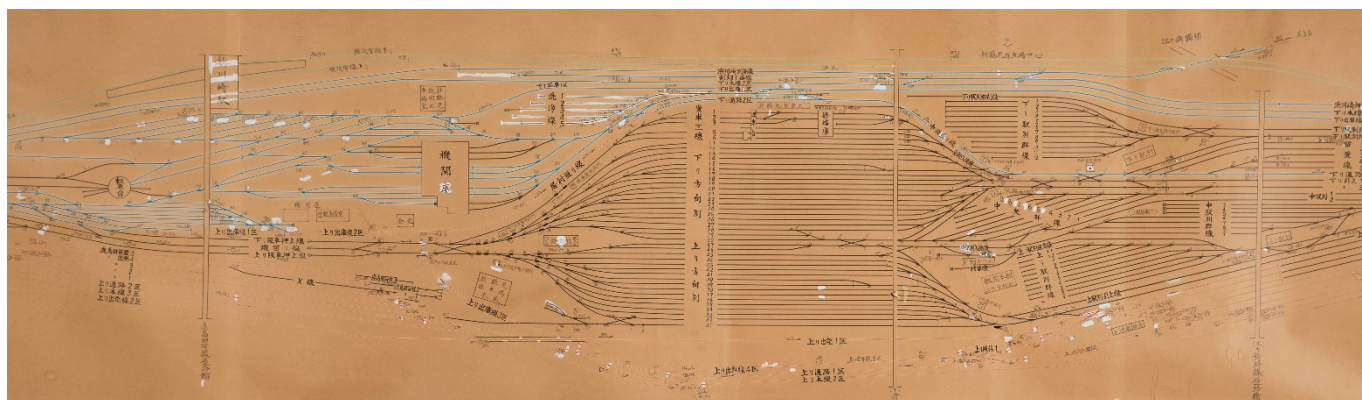
開場時間 9:30～17:00(最終入場16:30) 観覧料 無料

展示概要

川崎には多くの鉄道が通っています。交通の要衝に位置し、工業都市としての役割を果たしてきた川崎は、鉄道貨物の分野でも重要な役割を担ってきました。本展では、川崎をめぐる鉄道の中でも、貨物鉄道に光を当てます。

前半では、「東洋一」とも称された新鶴見操車場を中心に取り上げます。操車場は、全国から多くの貨車を集め、それぞれ新たな方面へと再編成する鉄道貨物輸送の要となる役割を持っています。巨大操車場の運営には多くの要員と複雑なオペレーションが必要でした。

こうした巨大操車場は国鉄が JR へと変わっていく段階で消えていきましたが、現在でも川崎市内では、臨海部を中心に多くの鉄道貨物が取り扱われています。後半では、塩浜操駅（現・川崎貨物駅）を中心に、工業都市川崎の形成と鉄道貨物の移り変わりを見ていきます。



新鶴見操車場構内略図（部分） JR 貨物 新鶴見信号場所蔵

展示構成

《第1章 新鶴見操車場》

1. 「東洋一」の操車場の誕生
2. 操車場の仕事

「東洋一」を称した新鶴見操車場の概要とその働きを、JR 貨物新鶴見信号場所蔵の写真を中心に、図面、文書、映像などを交えながら明らかにしていきます。

《第2章 塩浜と神奈川臨海鉄道》

1. 川崎臨海部と工業化
2. 神奈川臨海鉄道と塩浜操駅

大正時代以降の川崎臨海部の工業化と鉄道の整備について振り返りながら、戦後整備された塩浜操駅と神奈川臨海鉄道のあゆみを、同社が所蔵してきた資料と共に紹介します。

《第3章 操車場と国鉄分割民営化》

1. 新鶴見操車場の廃止
2. JR の誕生と鉄道貨物の行方

国鉄末期の輸送構造の変化の中で廃止された新鶴見操車場の姿と、現在の川崎の鉄道貨物の様子について触れます。

見どころ

鉄道に関する展示は近年数多く開催されていますが、本展は貨物、とりわけ操車場という施設に焦点を当てています。

今回の展示では、国鉄の最盛期の操車場での作業を捉えた図面、写真、映像などを紹介します。特に、当時の構内作業を撮影した写真や映像は、他ではあまり見ることでできない貴重な資料となっています。本展では、展覧会として初めて公開する資料を含めた、約 100 点を展示します。



貨車入換訓練
昭和 30 年代 JR 貨物 新鶴見信号場所蔵



新鶴見操車場ハンパ下
昭和 41(1966)年 撮影:福原邦夫



塩浜操車場
昭和 40(1965)年頃 川崎市市民ミュージアム所蔵

関連イベント

■「川崎の鉄道操車場 - 今昔めぐり - (オンライン)」 視聴無料 申込不要

新川崎から川崎臨海部までをめぐり、川崎の貨物線と操車場の過去と現在の姿を探っていきます。川崎市市民ミュージアムの HP 上で配信中です。

配信期間: **2021 年 11 月 16 日(火)10:00**

～ **2022 年 2 月 16 日(水)16:00**

講師: 高嶋 修一(青山学院大学教授)

鈴木 勇一郎(川崎市市民ミュージアム学芸員)

URL <https://www.kawasaki-museum.jp/event/24252/>



■関連講演会「川崎の貨物鉄道 - 過去と現在 -」 料金無料 事前申込制(定員 30 名)

川崎をめぐる貨物鉄道の変遷を、新鶴見操車場や塩浜操車場(現・川崎貨物駅)などを中心に解説します。

開催日時: **2022 年 2 月 12 日(土)14:00~16:00**

場所: ミューザ川崎シンフォニーホール 4 階 研修室 1・2

定員: 30 名 ※応募多数の場合は抽選 料金: 無料

講師: 鈴木 勇一郎(川崎市市民ミュージアム学芸員)

申込期間: 2022 年 1 月 7 日(金)10:00~1 月 31 日(月)16:00

《申込方法》

【HP】川崎市市民ミュージアムのイベントページ(<https://www.kawasaki-museum.jp/event/25207/>)の申込フォームよりお申し込みください。

【郵送】往復はがきに、イベント名・参加者全員のお名前(フリガナ)と電話番号・参加人数(最大 4 名)、返信面に代表者の郵便番号・住所・お名前を明記して、川崎市市民ミュージアム宛て(川崎市中原区等々力 1-2)に郵送 ※締切日必着
※締切後に抽選を行い、締切日の 3 日後までに当選者のみメールをお送りします。(往復はがきの場合は、当落いずれの方にも通知いたします)

展覧会概要

【展覧会名】 鉄道操車場物語 ―新鶴見から塩浜へ―

【会 期】 2022年2月3日(木)～2月16日(水)

※会期中無休

【会 場】 ミューザ川崎シンフォニーホール 4階

企画展示室・研修室 4

【開催時間】 9:30～17:00(最終入場 16:30)

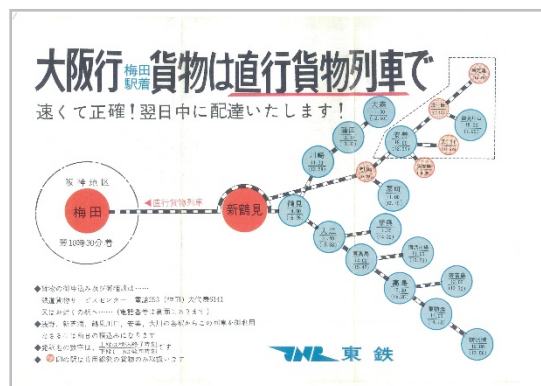
【観 覧 料】 無料

【主 催】 川崎市市民ミュージアム

【問い合わせ先】 川崎市市民ミュージアム

TEL:044-754-4500(月～土、9時～17時) FAX:044-754-4533

【企画展ページ】 <https://www.kawasaki-museum.jp/exhibition/24594/>



国鉄貨物ポスター 個人蔵

会場および当館のオンラインショップで、展覧会図録を販売します！

※詳細は追って川崎市市民ミュージアムのHP内でお知らせします

広報用画像

画像の使用を希望される方は、川崎市市民ミュージアム広報担当宛にご連絡ください。

■素材使用に関して

- ・今回ご提供する素材の使用は、本展覧会を紹介していただける場合に限りです。展覧会終了後の使用は一切できません。
- ・本プレスリリース内にある画像素材は全てご提供可能です。お気軽に広報担当宛にご連絡ください。
- ・トリミング・切り抜きなど画像の加工はご遠慮いただき、キャプション等の文字が画像に被らないようにご配慮ください。
- ・画像を使用する際は、キャプションを必ずご記載ください。

■展覧会メインビジュアルについて(縦・横)

下記画像を使用する際は、キャプションは不要です。



【プレスリリースお問い合わせ】 川崎市市民ミュージアム(施設休館中) 総務・広報部門 竹本

TEL: 044-754-4500(受付:月～土(祝祭日を含む)9:00～17:00) FAX: 044-754-4533

Mail: pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP: <https://www.kawasaki-museum.jp/> * 指定管理者: アクティオ・東急コミュニティー共同事業体